

まるやま



2019年度
森町立天方小学校
令和元年8月27日

NO.6

あきらめず努力を続けること

2学期 始業式校長の話

校長先生のお話をします。

まず、「38名が絶対に元気で登校してくること」、この約束を守ってくれてありがとう。天方小学校の先生方全員で、みなさんの登校を心待ちにしていました。

今日から81日間の2学期が始まります。2学期は、最も長い学期となります。2学期には、高学年のみなさんは陸上大会・全校での音楽発表会・稲刈り・6年生の修学旅行・各学年の校外学習、持久走大会などの多くの行事があり、そして毎日の勉強や運動など、自分の力をいろいろと試せる学期です。

これら一つ一つの行事や毎日の勉強や運動に、一人ひとり「プラス1」の努力をし続けて、自分の力をつけてほしいと思っています。

努力って、何かに向けて頑張ることですが、なかなか頑張ることを続けるのは難しいことです。

校長先生は、努力には壺があると思っています。目にはみえない壺ですが、この壺には、一つ努力すると球が一つ入り、もう一つ努力すると球がもう一つ入っていきます。そして、ずっと努力を続けると、壺には球がいっぱいになり、自分が目指していたことにたどり着けます。

例えば、自転車。ほとんどの人が当たり前のように乗っているかもしれないけど、初めは乗れません。足をつきながら練習をし、坂道で下ってみたり、家の人に支えてもらってみたりして、あるとき「ふっ」と乗れる時がくる。乗れない時が、努力の壺に球を入れているときで、その壺から球があふれた時が、自転車に「ふっ」と乗れる時です。他にもいっぱいあると思います。なかなかできないな・・・と思っていたことも、途中でやめなくて努力を続けると、「ふっ」とできるようになります。ただ、難しいのは、この壺中にどれだけの球が入ったのかが、わからないんです。そして、その壺は、それぞれに違うんです。わりと小さい壺の場合もあるし、何年も努力しないといっぱいにならない壺もある。だから、いくら球を入れてもいっぱいにならずに諦めてしまう人も多いんです。もうちょっとだったのに、努力をやめてしまう人もいます。

リコーダーの演奏がうまくできない。人前でうまく話ができない。なかなか忘れ物をなくせない。前の日に宿題を終えられない。いろいろな人がいるでしょう。そんな人も、すぐにはできなくても、ちょっとずつ毎日の努力を続けると必ず、できるようになります。

2学期、いろいろな努力の壺をいっぱいにして、プラス1の努力で81日間を乗り切っていきましょう。そして、12月24日(火)には、私は、2学期、これができるようになったよ。ということの一つでも多くもてるようにがんばってほしいと思います。

以上で、校長先生のお話を終わります。

